

五稜郭の石垣技術の特徴と 保存管理の現状

2022年の函館市教育委員会による特別史跡五稜郭跡の石垣保存修理工事において、石垣内部への浸水を防ぐ「刃金板」の遺構が発見されました。その一方で、去る2月には堀に面した石垣が崩落するなど、文化財保護の観点から憂慮すべき状況も発生しています。

そこで、五稜郭が竣工し、箱館奉行所が開庁した元治元年(1864)から160年を迎えた本年、五稜郭の史跡整備に携わっておられる東北芸術工科大学の北野博司氏をお招きし、郷土の貴重な文化財である五稜郭の石垣構築技術とその現状について改めて考える機会とします。(講演会終了後、五稜郭の兵糧庫内に保存されている「刃金板」を公開致します。)



日 時 2024年6月8日(土) 14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)

講 師 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター

教授・センター長 北野 博司 (きたの ひろし) 氏

1959年、石川県生まれ。富山大学人文学部を卒業。

石川県立埋蔵文化財センター、石川県教育委員会事務局を経て、2000年から東北芸術工科大学芸術学部。専門は考古学・文化財マネジメント。主な研究テーマは窯業史、近世城郭の石垣技術。

五稜郭をはじめ、熊本城跡、金沢城跡、仙名城跡、佐渡金銀山遺跡など、全国30か所余りの史跡整備の指導にあたる。本年4月より東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター長。



「刃金板」出土状況写真 (函館市教育委員会 提供)

会 場 函館市中央図書館

(函館市五稜郭町26番1号) 視聴覚ホール

定 員 150名(当日受付先着順)

参加料 無 料

申込み 当日 直接、会場にお越しください。

五稜郭タワー株式会社 Tel/0138-51-4785(講演会担当)

後援 北海道新聞函館支社/函館新聞社/道南ブロック博物館施設等連絡協議会

協力 箱館奉行所 指定管理者 名美興業株式会社

主催 五稜郭タワー株式会社/函館市中央図書館 指定管理者 図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体